

かとうゆうすけ 横須賀市議会議員/無所属/30歳

加藤 ゆうすけ



- 1988年 3月8日生 浦上台出身/在住
- 浦賀小学校・浦賀中学校卒
- 特技:中国語 ■趣味:ドラム ソフトテニス 釣り カラオケ
- 2006年 県立横須賀高校(58期)卒業 ソフトテニス部
- 2007年 吉田雄人インターンシップ生
- 2008年 南開大学(中国・天津)へ派遣交換留学
- 2010年 慶應義塾大学法学部政治学科卒
(株)ワーク・ライフバランス インターンシップ生
- 2012年 アクセンチュア(株)退社、復興支援のため福島に移住し、復興支援団体(一社)BridgeforFukushimaの職員として勤務。
- 2014年 復興庁福島復興局政策調査官を兼任。
- 2016年 4年半の復興支援を経て、横須賀へ戻る。
- 2017年6月25日 横須賀市議会議員当選。
会派 無所属みらい 委員会:都市整備常任委員会

090-7710-7281(本人携帯) 

<http://katoyusuke.net>  “加藤裕介”

mail@katoyusuke.net  @katoyusukeYK

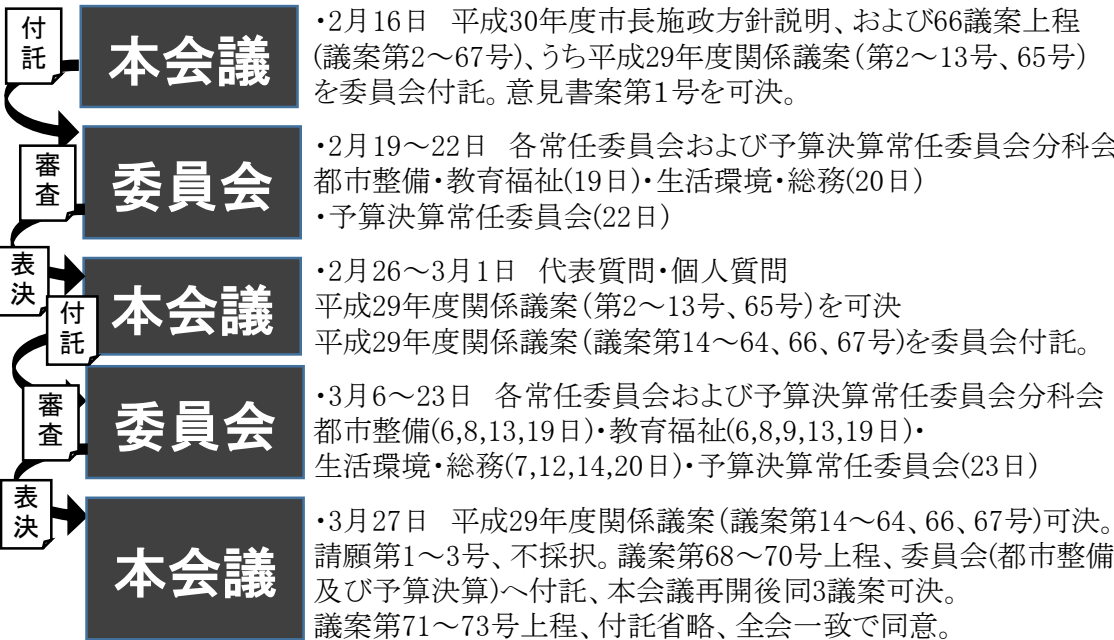
報告 上地市政が初めて編成した平成30年度予算一般会計は、1,554億4千万円(前年比97億5千万円の増加)でした。

3月定例議会は、平成30年度の予算を決める議会です。一般会計は、1,554億4千万円で、過去2番目に大きい規模となりました。233事業中、新規事業は25事業(≒全事業の10.7%)ありました(※1)。前年度は272事業中、新規は10事業(≒全事業の3.7%)であったことと比べても、上地市長をはじめとする新執行部の意思が強く表れた予算編成と言えます。

※1 「平成30年度予算の概要」p153～159 掲載事業一覧(部局別)において、「新」と記された事業数で数えています。

- 【新規事業】(一部抜粋)
- エンターテイメント推進事業(1,047万7千円)
メジャーデビューオーディションの開催等
 - 街なかミュージック支援事業(305万円)
ストリートライブ場所の確保、演奏による実証実験
 - 軍港資料館等整備事業(3,872万6千円)
建設する中核拠点の基本設計、デジタルコンテンツ活用
 - 介護ロボット導入支援事業(204万7千円)
介護施設などへの介護ロボットの導入支援
 - 谷戸地域再生推進事業(1,447万9千円)
谷戸の空き家改修、芸術家の誘致、コミュニティ再生

今回(3月定例議会)のながれ



大まかに、
1)本会議で議案が出され、
2)議案は所管の委員会へわたされ(付託)、
3)委員会で話し合い(審査)、
3)最後、本会議で表決。

という流れです。3月は、次年度の予算を決めるため、時間がかかります。
 加藤ゆうすけは、都市整備常任委員会と、予算決算常任委員会に所属しています。

裏面へ続く

委員会審査の一コマ

私の所属する都市整備常任委員会(および予算決算常任委員会 都市整備分科会)での審査の様子を紹介します。

先述の「谷戸地域再生推進事業」の目玉のひとつが「芸術家等モニター誘致事業」。寝食を忘れて制作に没頭できる静かな環境を売りに、芸術家を誘致するののかと思い質問したところ、「あくまでも地域コミュニティの活性化が第一の目的で、アーティストの誘致を第一としている事業ではない。芸術活動に没頭するかたを募集するよりも、まずは地域コミュニティを盛り上げてくださる提案者に優先して住んでいただきたい」との答えでした。勿論、コミュニティ再生は大切

ですが、芸術家に本当に響く政策になっているのだろうか・・・と感じた一コマでした。



※本会議および常任委員会は、録画がいつでもインターネットで見られます。
<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/yokosuka/WebView/>

視点 人生100年時代における働き方のありかたとは？

なんどでもチャレンジできるまち

=老若男女、いつでも何にでも取り組める。
 チャレンジすることが素晴らしいのだと称賛される。

地域で頑張る人が輝けるまち

=率先して課題解決に取り組む人を応援できる。

じぶんごと化できるまち

=他人事にしたり、見て見ぬふりをしない。

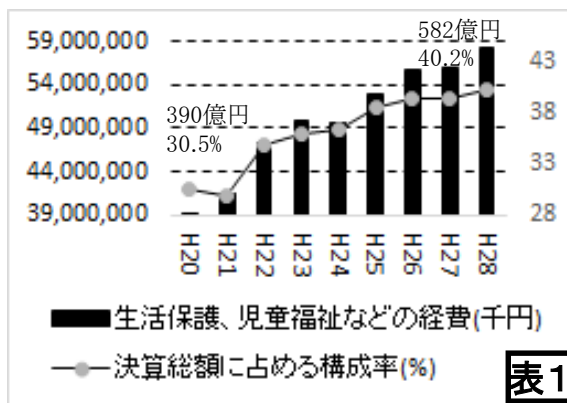
今回、職員人事において、①部長級退職者を行政センター館長として再任用したこと ②定年退職する校長を、校長として再任用したことが話題になりました。こうした再任用が慣例として定着すれば、若年者の出世への期待が削がれるのではないかと感じます。

一方で、働きたいけれど諦めてしまっている高齢者がとても多いという研究(※1)があります。市内でも、横須賀で働ければ働きたいけども、横浜・川崎・都内に行かないと希望がかなわないから諦めたとの声を耳にします。私の所属する会派・無所属みらいの代表質問でも高齢者雇用促進を取り上げましたが、私の掲げる「なんどでもチャレンジできるまち」実現を目指し、今後取り組みます。

※1 「就労支援で高齢者の社会的孤立を防ぐ」(藤原佳典・南潮、ミネルヴァ書房、2016年)などに詳しい。

財政 公表されている「横須賀市の財政状況」をもとに、本市の財政状況をもてみる【歳出編】

法律に基づいて、「横須賀市の財政状況」というものが年2回公表され、市のWebサイトで誰でも見られます。今回は、歳出(出ていくお金)、特に「生活保護、児童福祉などの経費」を取り上げます。人口は減り続けるものの、介護保険・生活保護などの社会保障費が増え続ける構造が見て取れます。



※出典 表1:平成21~29年の12月初旬公表の「横須賀市の財政状況」において、各年度の歳出決算の状況から区分「生活保護、児童福祉などの経費」を加藤が集計、作成した。

表1

■加藤ゆうすけ(少し大きめ)市政報告会 開催します!■

5月26日(土曜)10:00-11:00 ヴェルクよこすか6階(車椅子可)

ご参加連絡は①氏名②電話番号を jimukyoku@katoyusuke.net か FAX 046-815-6447 へ!